

# PRESS RELEASE



2013年6月10日

## 「情報」が、仮設住宅の暮らしを支える 宮城県石巻市で、「仮設きずな新聞」を再刊します。

一般社団法人ピースポート災害ボランティアセンター（以下、ピースポート）では、宮城県石巻市の仮設住宅入居者支援として、2011年10月より「仮設きずな新聞」を発行・配達してきました。今年3月末で一旦休刊していましたが、地元の方々からの強いリクエストを受け、記事の内容や運営体制をリニューアルし、6月から毎月2回のペースで再刊することを決定しました。

「仮設きずな新聞」のモデルは、阪神・淡路大震災の被災地・神戸市長田区でピースポートが発行した「デイリーニーズ」、すたあと長田が発行を引き継いだ「ウィークリーニーズ」です。東日本大震災による甚大な被害に見舞われた石巻市では、ボランティアと仮設住宅入居者をつなぐコミュニケーションの道具として、また不慣れな場所での生活に役立つ情報を届けることを目的に、2011年10月～2012年3月は毎週、2012年4月～2013年3月までは隔週でピースポートが発行を続け、これまでに全50号累計24万部以上を届けてきました。仮設住宅での寒さ暑さ対策、再開した店舗の紹介、地域のイベント情報、お手軽クッキングレシピ、市報から仮設住宅に関する情報の抜粋など、これまでに掲載してきた内容も、新聞を直接配達しながら聞き取った声を参考に編集してきました。

入居から月日が経ち、生活にも少しずつ慣れてきたことから、今年3月での一旦休刊を決め、そのタイミングに合わせ、市内98団地を対象にアンケートを行いました。その結果、「ほかのメディアでは入手できない別の仮設団地の様子が分かって役立つ」「色々な情報がわかり、取り残された気持ち（不安）を解消してくれる」など、「仮設きずな新聞」が届けてきた「情報」に対する大きなニーズがあることが分かりました。

今後の仮設住宅には、復興公営住宅への移住が遅れるであろう高齢者に向けた健康に関する情報や、これからの復興街づくりに関する情報も必要です。再刊に当たっては、新たに医療系のボランティア団体や街の復興計画に携わる団体も加え、新たな編集体制で動き出しています。配付先も、これまでの約90団地各5,200部に限らず、人の集まる施設や店舗などにも設置していく予定です。

### ■ リニューアル版「仮設きずな新聞」概要

- 【期間】 2013年6月10日から、毎月10日、25日発行
- 【紙面形態】 各号A3サイズ両面
- 【内容】 仮設住宅入居者に役立つ情報（復興、地域、生活、健康、街なかなど）、ココロが元気になる情報
- 【配付方法】 市内の仮設住宅にポストイングまたは戸別配布、市内の施設や店舗への設置
- 【運営】 <発行>ピースポート災害ボランティアセンター <協力>石巻市仮設住宅自治連合推進会／からころステーション／キャンナス／街づくりまんぼう／復興大学

※創刊号から第50号までのバックナンバーは <http://pbv.or.jp/ishinomaki-psen/newspaper/>

現地取材、活動中の写真提供なども可能です。下記までお問合せください。

### ● このリリースに関するお問い合わせは、

ピースポート災害ボランティアセンター（東京都新宿区高田馬場3-13-1-B1）  
TEL. 03-3363-7967 MAIL. kyuen@pbv.or.jp

ピースポートセンターいしのまき（宮城県石巻市立町1-5-21）  
TEL. 0225-25-5602 MAIL. ishinomaki@pbv.or.jp